

ふらべじ

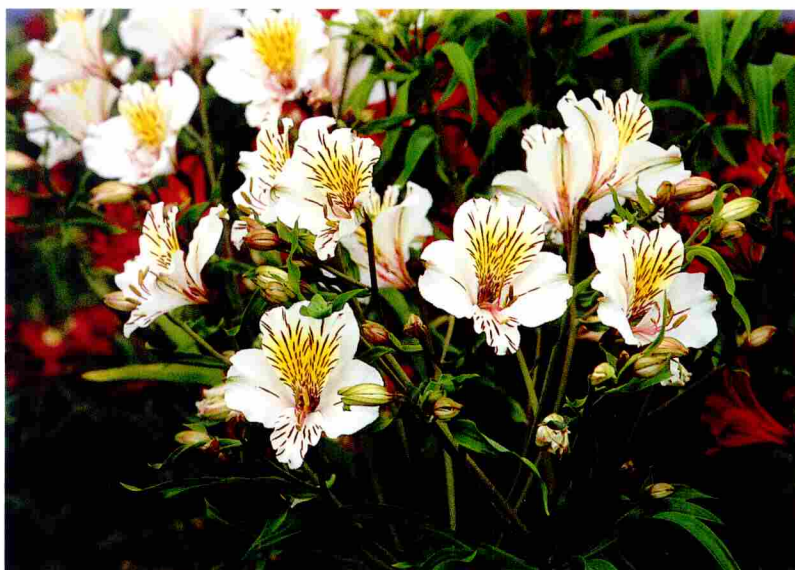
Flower&Vegetable

Vol. 12²⁰⁰⁰
3. 20
陽だまりの号

発行 北海道立 花・野菜技術センター

滝川市東滝川735 TEL (0125) 28-2800 FAX (0125) 28-2299

ホームページアドレス URL:<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/hanayasai/center.html>



長野オリンピックの表彰に使われて注目された花ですが、名前がすらすら出てくる人は意外に少ないかもしれません。アルストロメリアという名前はスウェーデンの植物学者アルストレメール氏にちなんだものだそうです。

日本語の名前はユリズイセン。南米アンデス地方原産なので「インカのユリ」、また「夢百合草」なんてロマンティックな名前もあります。でも植物学的にはユリではなくアルストロメリア科アルストロメリア属に分類されています。

涼しい気候を好むので北海道で多く栽培されています。温室では一年中花を咲かせる品種もあります。

この北国もようやく春めいてきました。明るい陽の光を浴びてますます色鮮やかに咲いてくれることでしょう。

アルストロメリア

Alstroemeria

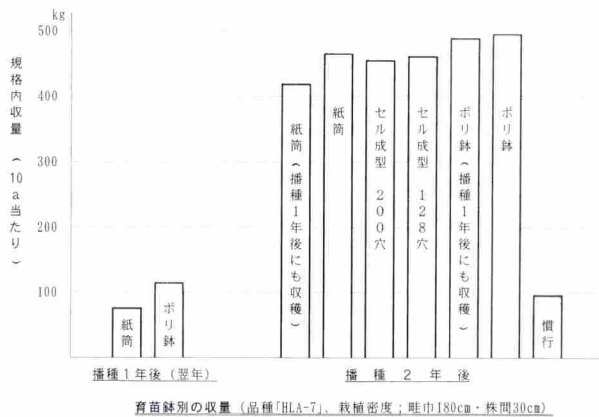
北国の適作物・アスパラガスの

栽培法を見直しましょう！

冷涼な気候を好み、昨今の消費ニーズにもピッタリ（低カロリーで機能性成分を多く含む）のアスパラガスは、今一度北海道の特産にしたい野菜です。

ですが、種を蒔いてからあるいは苗を植え付けてから収穫が始められるまで年月がかかるのは‘じれったい’ことです。

そこで、春先早くに育苗ポットを利用して育てた苗を本畑に直接植え付ける栽培法を、旧来の露地苗床で1年間苗を養成し次の年に掘り上げて本畑に植え付ける方法と比べてみたところ、播種（その年に定植）した翌年に100kg/10a位の収穫ができ、さらにその翌年には旧来の植え付け方法や本道の平均的な収量を大きく上回る500kg/10a位の収穫ができることを実証できました。



育苗ポットは紙筒、セル成型あるいはポリ鉢いずれでも、それぞれの適した育苗日数がありますが、利用できます。ただし、必ず地温や土の水分を適度に保ち、かつ雑草を抑える種類のフィルムでマルチをすることと、茎が倒れないように措置することを忘れてはいけません。勿論、植え付ける時のしっかりした土造りも大切なこととは言うまでもありません。

今では、本道でも春から秋まで生産出荷することが可能です。新鮮で美味しい健康野菜のアスパラガスを上手に沢山作り、大いに愛食してもらいましょう！

定植時の苗生育[撮影：6月3日]

播種日：ポリ鉢 3月19日
セル(128穴)・紙筒 4月1日
セル(200穴) 4月10日



(野菜第二科)

消費者ニーズにあった宿根かすみそうの新しい栽培法

花束に使いやすいサイズの花を！

それなら**多茎仕立て**

- ◆通常、1株から4本の花を採りますが、この仕立て法では8～12本採ります。
- ◆切り花1本のボリュームは小さくなり、需要の多いM・Sサイズの花が採れます。
- ◆日持ちの良い花が採れます。
- ◆採花・調製の労力が軽減できます。
- ◆1本単価は低くなりますが、所得の変動が少なく、収益性の高い栽培法です。



日持ちのいい花を！

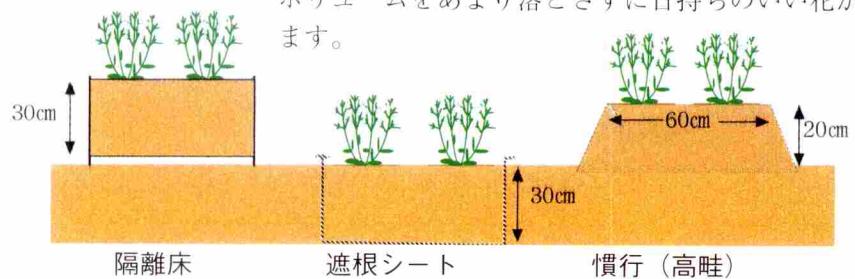
それなら**隔離床**か**遮根シート**

- ◆土壌の排水性と切り花のボリューム・日持ち性の関係は・・・

排水性	ボリューム	日持ち性
良	小	良
不良	大	不良

- ◆排水不良な畑でも隔離床や遮根シートを使えば、日持ちのいい花が作れます。

- ◆その場合、水を控える時期を遅らせると、切り花のボリュームをあまり落とさずに日持ちのいい花ができます。

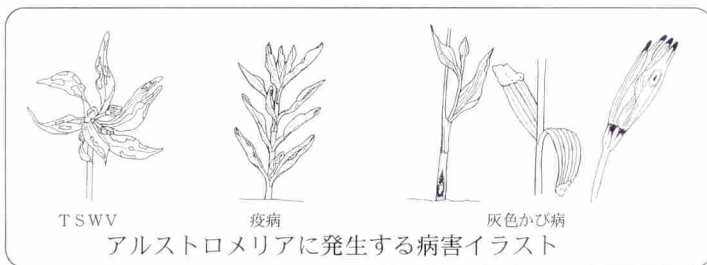


(花き第一科・花き第二科・土壤肥料科)

花き病害診断マニュアル

道内に発生するきくで15種、ばらで10種ストックで5種、きんぎょそうで4種、アルストロメリアで3種、サンダーソニアで2種の病害について、病害診断マニュアルを作りました。このマニュアルはそれぞれの花きごとに、右のような構成になっています。また、他にも補足資料として実際の発生状況や被害様相ものせてあります。生産現場での病害診断に役立てていただけるものと考えています。

1. 病害一覧（病名と学名）
2. 症状と診断のポイント
3. 主要病害の検索表
4. 病害イラスト
5. 病害図版
(病徴写真と一部病原菌の顕微鏡写真)



(病虫科)

とにかく暑かった！

昨年の異常高温はこれまでに経験したことがないほどすさまじいものでした。神戸出身の私でもげっそりと・・・、動きたくないのかえって太ってしまいました。各作物にも被害が見られ、道立農試では異常高温対策についての資料を出版するため各分野毎に被害の実態と対策・今後の課題などを整理しているところです。園芸作物についても各担当者から原稿をいただいておりますが、予想以上に被害が大きかったことに驚いています。



北海道で栽培されている作物の大部分が、府県の夏では栽培できない冷涼作物であることに改めて思い知らされたのではないのでしょうか。その大部分が地中海、小アジアなどの原産で、春までの冷涼な雨期に生育・開花し、夏の暑い乾期までに結実・結球して休眠に入る性質を持っています。例えば、タマネギやキャベツ、チューリップなどがあげられます。以前、3月上旬にクレタ島に遺伝資源収集のために行ったときの一面の花畑が思い出されますが、下旬は枯れ始め、夏には砂漠同然になるとのことでした。北海道の夏は原産地の春から初夏の気候のため、府県では夏に栽培できない野菜・花を作付けして端境期に出荷する有利性を活かしてきたと言えるでしょう。しかし、北海道も地球の温暖化によって、今後は府県並の夏になるのであれば考えなければ。府県では初夏や初秋に何とか栽培するため高温対策に努力してきましたが、北海道も高温対策に関する試験研究や高温に強い品種改良も必要となってくるでしょう。温暖化によって冬も府県並になる保証はないのですから。

(研究部長 宮浦邦晃)

研修生を募集しています

北海道立花・野菜技術センターでは、農業者や技術指導者のレベルアップを目的に、北海道花き・野菜技術研修を行っています。

研修名	コース(種類)	定員
専門技術研修	○花きに関する技術コース ○野菜に関する技術コース	○土壌肥料に関する技術コース ○病害虫に関する技術コース
総合技術研修	○花き・野菜技術過程 (平成12年4月18日～9月22日)	・基本採技術研修【前期課程】 (平成12年4月18日～6月30日) ・実績技術研修【後期課程】 (平成12年7月10日～9月22日)
		各コース合わせて20名程度 20名程度

異国の！ 農業人 いんたびゅー

from Mongolia

異国編第3弾は、オユンゲレル・ジャンラブさんです。平成11年7月から平成12年3月までの長期研修でした。

*どこから来られたのですか？

モンゴルのウランバートルから参りました。モンゴルのMongolian State University of Agricultureの先生です。毎年、農学部約250人くらいの学生たちに野菜の栽培の講義をしていました。

*どうして日本に来られたのですか？

日本の野菜栽培の科学技術を教えてもらいたかったからです。

*9カ月間の研究期間にどんなことをされましたか？

日本の農業のハイテクノロジーを見て、野菜栽培の研修を短期間にしました。たくさん面白いことを教えてもらいました。



野の花

私の小学生の頃は、上級生になると年1回映画鑑賞会というのがあり、担任の先生に引率されて遠足のように行列になり、遠い町の映画館に繰り出した。当時はどんな町にも映画館があり、映画は第一級の娯楽であった。当然、「つづり方教室」「黄色いカラス」など文部省推薦物ばかりであるが、その中で木下恵介監督の「野菊の如き君なりき」は澄んだマンドリンの音色、抑揚の利いた声量での短歌の朗読・挿入など、強烈な印象であった。伊藤左千夫の「野菊の墓」は後年幾度読み返した事か。薄命の民子役は素人の有田紀子という人で、役柄にピッタリ。民子=紀子である。古い因習に翻弄された政夫との悲しい物語に自分がかまってしまう、封建的な農村の大人達に義憤を感じることにしきりであった。年月を経て平成8年、滝川に転勤となり街中に住むことになった。そこで神様が巡り合わせてくれた老犬トム（メス、11歳）との散歩が始まる。そしてあちこちの路傍でみかける野草の中でも、「ヒメジョオン」の群落は見事であり心が和む。ちょっと歩く間に、白から薄紫に変わっていく可憐な花びらの群れ、自然交配の芸術品には驚かされる。民子が好きだった野菊、「シオン」はきっとこのような花であろうと思い、郷愁とともに忘れ難き民子を偲んでいる。

(土壌肥料科 鎌田 賢一)



*日本の生活はどうでしたか？

面白かったです。日本の人たちはいつでも優しくかった。北海道の気候はモンゴルと似ているから難しくありませんでした。

*モンゴルに帰られてからは？

モンゴルに帰ったら、日本で教えてもらった野菜の栽培を学生たちに教えてあげます。

*最後に一言どうぞ

日本に初めて来たから何でも面白かったです。言葉が一番難しかったです。日本の人たちからいろいろなことを教えてもらって本当に嬉しかったです。皆様ありがとうございました。お元気で。

編集後記

- ◆表紙は完成、特集はあと写真を貼るだけ、コラムはイラスト入れた方がいいよな。インタビューをまだ作ってないけどこれはアラジンの魔法使いにお願いして来よー!? あぶらかだぶらあ〜 (ニセR・U)
- ◆わあ〜い、春だあ! でもまだ寒い。待ちきれないから南国へ行ってこようっと! (アラレ)
- ◆もう3月というのに、この雪の量はどうしたことでしょう。雪の多い冬の後には猛暑になるとか。今年もか・・・!?(Goh)
- ◆車で札幌から滝川へ帰宅途中、道路わきの雪山が街を通過するたびに大きくなるのを見て実感。今年は雪が少ないと言いつつも、滝川はやっぱり雪が多いです。(T)
- ◆編集委員になってはや一年。この一年を振り返ると・・・。編集での思い出が思い浮かばない。覚えているのは打ち上げ飲み会のことだけだ。これでいいのだろうか? ま、いいか。(N.M)
- ◆また、何にもしないで編集が終わりました。ところで、家畜を担当している私は、ウンコの栄養で美しい花が咲くことをいろんな人に知って欲しいと思っています。(モーさん)